

山形県村山市

むらやま議会だより

もっと知ってほしい、みんなの議会

-2026-

8.1

vol.130

令和8年
6月定例会



TOPICS

- ◎ 出前授業 ◎ バラ議会
- ◎ 出資法人等の経営状況報告



バラまつり2026
オープニングセレモニー



村山市議会



村山市議会ウェブサイト▶



施設整備を促進

総額181億6,325万円

化学製品の安定供給と 提出を全会一致で可決

6月 定例会

令和8年第4回定例会は6月2日から6月19日までの会期で開催され、
条例改正や補正予算など27議案を原案のとおり可決しました。

この背景は

はくじゃ
白蛇の滝(樽石)

楯山散策路草刈等業務委託料 62万円



高齢化、クマ出没対策等
により業務を委託するも
のです。

自治公民館整備費補助金 57万円



クーラーを取り付けるなど
自治公民館を整備するた
めの補助です。

畜産・農業振興費 1,482万円



畜産業の振興やサクランボ
ハウス改築、担い手の育成
を支援するものです。

葉山中学校防犯カメラ賃借料 73万円



葉山中学校の防犯対策を強
化するものです。

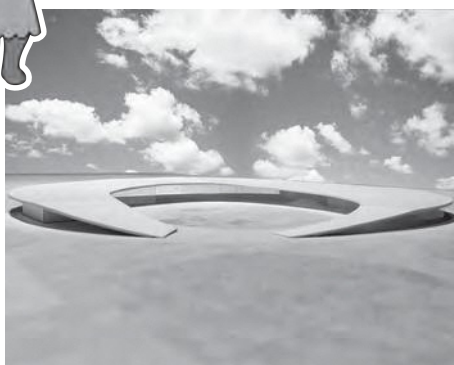
令和8年第3回臨時会が4月21日に開催され、
市税条例の改正1件、補正予算1件、専決処分
の承認1件を原案のとおり可決しました。

令和8年4月 第3回臨時会

議員発議

地方における燃料油及び石油
価格の安定を求める意見書

気になる！新「道の駅」



新「道の駅」完成予想模型

6月13日「事業進捗報告会を開催」
建築設計のコンセプトや現状の計画、道の駅運営のビジョンを建築設計者と運営事業者がプレゼンテーションを行い、「食に特化した、誰もが気軽に集える公園のような」道の駅を目指すという説明がありました。

クアハウス基点
指定管理期間の変更

・村山市基点レクリエーションセンターの指定管理者の指定事項の一部変更について

(株)村山市余暇開発公社が受けているクアハウス基点の指定管理期間を、令和9年3月31日までに短縮するものです。議会からの要望もあり、公募による指定管理者を目指します。

表彰

全国市議会議長会より表彰
〔在職10年以上〕

石澤 祐一 議員
高橋菜穂子 議員

農業委員の
改選について

令和8年7月19日をもって任期満了になるため新たに18名の委員を選任しました。

審議結果報告

(4月臨時会、6月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議員名 議案等の名称			議決結果	市政・公明クラブ					市政クラブ				改革クラブ		賛成	反対		
				松倉慶子	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	森直也	瀧田順子	柴崎亮太	高橋菜穂子	吉田創			高橋卯任	阿部正任
市長提出議案	第35号	村山市市税条例の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	12	1
市長提出議案	第36号	令和8年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	12	1
請願	第1号	核兵器禁止条約（TPNW）への日本政府の署名と批准を求める意見書提出に関する請願	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	○	○	3	10

討論がありました。

中里芳之・阿部正任・松倉慶子の各議員より

審議討論

動画はこちら↓



請願第1号



議案第35号

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。 可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

出資法人等の 経営状況報告

村山市土地開発公社

村山市駅西開発事業

ヤマザワ村山駅西店西側エリアの用地を取得し、商業団地造成及び区画道路整備工事に着手した。

令和9年度に向け、土地開発公社が開発する面積3万2000㎡を約5000㎡の6区画で分譲していく。



開発が進む村山駅西エリア

(株)村山市余暇開発公社

株式会社として5期目を迎えた。長期化する世界情勢の不安定化による燃料高騰及び物価高騰が続いた。年々上昇する経費を抑えるために、エネルギー効率の見直しを行い、単価が高騰する燃料及び電気使用量を抑える工夫を行っている。また、両施設同時に電気の供給先を改めることにより、電気代の抑制を行うことができた。

2年前から山形県を訪れる観光客数が4000万人台まで回復し、好調を維持し続けている。道の駅の来場者数も比例するように上昇傾向にある。クアハウス基点・道の駅むらやまともに、経年劣化による施設設備の故障が相次いだが、その都

度修繕を行っている。

コロナ禍に開始した長期債務の返済は令和7年度9月に完済している。

①クアハウス基点

物価高騰やインバウンド需要の変化に対応するため、宿泊・宴会料金の改定や予約システムの更新、新メニューの導入を実施した。宿泊利用者は減少したものの、価格改定により売上は一定水準を維持した。日帰り温泉利用は好調で、レストラン売上も増加した。一方、SPAプール休館の影響は大きく、経費削減や業務見直しを進め、収益改善に取り組んだ。



令和8年7月3日にリニューアルオープンしたSPAプール

②道の駅むらやま

好天に恵まれたことや大型バス利用の回復により、総利用者数が30万4286人となり、前年度比約4%増加した。フードコーナーや売店では商品構成の見直しや販売促進策が奏功し、売上増収を達成した。一方で、農産物直売所は気候変動による生産量減少の影響を受け、売上が伸び悩んだ。今後も魅力ある商品開発やイベント開催を通じて、さらなる集客と地域活性化に努める。

令和7年度 (株)村山市余暇開発公社の当期純損益

(単位：円)

区分・年度	令和7年度	令和6年度	増減
クアハウス基点	△16,010,167	△1,628,048	△14,382,119
道の駅むらやま	13,698,015	56,973	13,641,042
余暇開発公社共通経費等	1,538,595	1,587,052	△48,457
合 計	△773,557	15,977	△789,534

一般財団法人村山市スポーツ協会

スポーツ振興事業、スポーツ少年団育成事業、居合道振興事業及び広報活動を実施し、市民のスポーツ活動の推進と健康増進に努めた。主な事業として、むらやま3×3の開催や、スポーツ少年団の団員が施設の清掃ボランティア活動などを行った。また、加盟団体やスポーツ少年団への助成を通じて地域スポーツ活動を支援した。

財務面では正味財産が前年度を上回り、健全な運営が維持されている。令和8年度はスポーツ施設の指定管理業務を担い、施設管理とスポーツ振興の一体的な推進によるさらなる市民サービスの向上を図る計画である。

部活動地域展開について 現状・課題を伺う

松倉 慶子 議員



動画はこちら



Q 部活動の地域展開の進捗状況を伺う。

A 現在楯岡中学校には10、葉山中学校には7の部活動があり、令和7年度末の段階ではほとんどの部活動において休日の活動の受皿となる地域クラブがある。生徒の活動状況は、市内全体で76%が部活動もしくはクラブ活動に参加している施設に付随する用具については、貸出し可能であり、吹奏楽部においては、両校の楽器を共有して活動している。

Q 保護者の費用負担を軽減するため国の助成事業を活用してはどうか。

A 本市で活用している国の助成金は、部活動の地域展開等推進事業による補助金と、部活動指導員を配置するための補助金であり、現在保護者負担軽減の補助金はない。今後国の動向を注視していく。

Q 生徒移動時の安全性を伺う。

A 大会には顧問が引率している。市教育委員会でも保護者会を通して注意喚起を行っている。地域クラブの場合、各団体の安全管理のもと、保護者の責任で大会に参加している。

Q 教員の負担を是正する国の施策で部活動が無くなる動きはあるが、部活動へどのような認識をお持ちか。

A 学習指導要領では学校の判断に基づき実施しないこともあるが、大きな教育的意義を有すると実感している。各学校の判断を尊重して適切に支援していく。



16時半 部活動が終わり地域クラブの活用を待つ楯岡中学校体育館

小学校統合後の校舎、跡地活用について

阿部 正任 議員



動画はこちら



Q 統合後の学校跡地は、新たな活用、もしくは解体の判断が迫られる。対話や説明を通し地域住民が納得できる判断、意向反映が必要と考えがどうか。

A 地域の方々に広く意見を求めるべきと考える。現在も学校施設は学童クラブ、災害時の指定避難所や地域のスポーツ団体の練習やレクリエーションの場所として利用されている。地域にとって重要な機能であり、今後もその必要性は高いと考えるがどうか。

Q 学童クラブについては、校舎一部を残し現施設での運営も可能である。避難所として指定されている6校の小学校のうち、5校が廃止（閉校）される計画である。老朽化対策や維持管理など総合的に判断し、避難所の確保に努める。小学校の体育館やグラウンドの利用は、スポーツ団体を主に、徳内まつりの練習など昨年度は46団体、延べ2021件の利用があった。

Q 今後、跡地利用について、いつ、どのように判断するのか。

A 現在、教育委員会やまちづくり協議会を通じ意見、要望を聞いている。最終判断については、統合終了後に行う。



楽しい学童クラブ（富並小学校）

Q 市営バス事業について、来年度からの業務委託契約の更新にむけ、さらなる利便性と乗車率の向上、効率的で持続可能な運行体制を構築していく必要があるのではないか。

A ある程度の赤字は覚悟している。市民の足として必要である。国の補助を得ながら持続していく。



一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

安心して人生の「最終段階」を迎えるには

森 直也 議員



動画はこちら



Q 終活とは、自分らしい最期を迎えるための準備であり、医療や介護、財産管理、家族への意思表示、さらには死後の手続きまでを含めた幅広い取り組みである。

市民が安心して最終段階を迎えられる地域づくりと終活支援について伺う。

A 若い人から高齢者まで幅広い人々には「終活」にあまり触れない現状である。高齢者対策として、老人ホームや自宅での介護に補助を行ってきた。今後も、時代の流れをみながら、市民の要望、意見を取り入れ手厚く施策を行っていく。

Q 高齢者の自主的な活動場所である「老人クラブ」は加入者の減少やクラブ運営の担い手不足など、持続可能性に課題が生じていると考える。現状と今後の取り組みについて伺う。

A 魅力的な老人クラブを推進するため、各種補助金などの支援をしている。老人クラブの活発な活動ができることが目標である。会員減少の鈍化、現状維持につながるよう、現在の施策を継続しながら、推移を見守っていく。

Q 市民が安心して人生の最終段階を迎えるには、どのような福祉施策を充実させていくか。今のところ新しい施策は考えていない。「老人クラブ」や「いきいきサロン」の補助を増やして活用していく。今後、どんなことができるか担当課を中心として検討したい。



仙台市で無料配布しているエンディングノート

会計年度任用職員の処遇改善を

中里 芳之 議員



動画はこちら



Q 会計年度任用職員の一時金は、正職員の半分の月数分しかないのは不均等待遇だ。県内では14市町村が正職員準拠で一時金を支給している。総務省も「正職員と異なる支給割合は説明がつかない」としている。「不平等の助長はしていない」というのであれば、本市も正職員準拠での支給を余裕があればそうするが、財政的に大変。

A 専門的な資格がある、または経験年数が長く仕事を熟知している会計年度任用職員の給与が、正職員の初任給程度かそれ以下というのは不合理だ。昇給上限の撤廃を。

Q 現在の運用が最適だと考えている。総務省は、休暇制度も常勤職員に準拠するよう通知しているが、本市は、年次休暇の任用時付与、保育時間、子の看護休暇、短期介護休暇などを設けていない。国にないなら早急に実施を。

A 近隣自治体の動向を注視し、適切な労働条件を検討していく。

Q 市税条例には、「商品であって使用しない軽自動車等」には「軽自動車税を課さない」とあるが、これまで課税免除された商品自動車はない。国は課税免除が「合理的」とし、天童市や河北町は免除している。商品自動車は課税免除されるような措置が早急に必要ではないか。

A 今までは適用してこなかったが、今後の動向を見ながらやっていく。



ナンバーがあると課税される商品軽自動車

法定外公共物の 修繕などの基準は

高橋 卯任 議員



動画はこちら



- Q** 法定外公共物[※]は、地域住民の生活環境や防災に密接に関わる重要な財産であることから、市が主体的に適切な管理をすることが望ましいと考える。市は、法定外公共物の場所や箇所数を把握しているのか。
- A** 国と本市で締結した国有地財産譲与契約書中に土地の一覧表と図面が添付されているが、その数が膨大なため正確な数は把握していない。この一覧表と図面で管理している。
- Q** 市と利用者・地域住民間で、修繕などの維持管理の役割分担はどうなっているのか。
- A** 法定外公共物は、受益者や地域の方が利用するために作られたことから、維持管理は原則受益者や地域の方にお願ひしている。箇所数が膨大なことから、地域の方々の協力をいただきながら維持管理している。
- Q** 維持管理は原則住民側ということだが、毎年法定外公共物の修繕が行われている。市が対応する場合の基準は何か。
- A** 一律の基準は設けていない。災害などによる大規模なものや金額が大きいもの、あるいは生活に支障があり、緊急に安全を確保する必要があるものなどを対象に工事や修繕を行っている。
- Q** 高齢化や人口減少で地域住民の担い手不足の深刻化や昨今の資材費などの上昇は、従来通りの地域住民が主体となった維持管理活動の継続を困難にさせる。活動継続を支援するための補助制度を創設する考えはないか。
- A** 今のところは無い。場合によって対応していく。



法定外公共物の水路

※法定外公共物＝道路法や河川法などの特別法の適用を受けない公共の土地（水路や里道）

令和7年度 政務活動費収支報告

会 派 名	交付額 (円)	執行額 (円)	残額 (円)
市政・公明クラブ (4月～10月・11人)	770,000	706,419	63,581
改革クラブ (4月～3月・2人)	240,000	203,092	36,908
日本共産党村山市議団 (4月～3月・1人)	120,000	120,000	0
無会派・柴崎亮太議員 (4月～10月)	70,000	10,906	59,094
市政・公明クラブ (11月～3月・7人)	350,000	54,530	295,470
市政クラブ (11月～3月・5人)	250,000	250,000	0
合 計	1,800,000	1,344,947	455,053

☆政務活動費とは…

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に対し交付されます。本市では「村山市政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人当たり月額10,000円を交付しています。収支報告書には、領収書等を添付し、残余額は市に返還しています。

市ホームページで行政視察の内容、領収書等を公開しています。

●議会活性化委員会 出前授業

6月10日 戸沢小学校

戸沢小学校6年生の社会の授業に、議員5名がゲストティーチャーとして出向きました。

授業で「子育て支援の願いを実現する政治」を学んでいたので、当日は市議会の役割について、税金の使途をさまざまな視点から検討し実現していく過程について説明しました。

緊張していた子どもたちも、グループに分かれると活発に意見交換をすることができました。

今後主権者教育の一環として、子どもたちが市議会議員を身近な存在と感じ、ふるさとしていくのは自分たちであるという当事者意識を持ってもらえるよう出前授業に取り組んでいきます。



まずは自己紹介で和やかに



グループワークで活発に話し合い

●甘い香りにつつまれたバラ議会

6月定例会は、東沢バラ公園で開催されているバラまつりをPRし、また市民の皆さんから議会に関心を持ってもらうため、議場をバラで装飾する「バラ議会」として開催しました。議員と執行部は本市の花であるバラのコサージュを胸に飾り議会に臨みました。

議会定例会は3月・6月・9月・12月に開催しています。ぜひ議場へ傍聴にお越しください。

これからも市民に開かれた、信頼される議会づくりを目指していきます。



コサージュと演壇のバラで議場が華やかに

●村山市議会特製ポロシャツ

市の花である「バラ」をデザインし、市議会のポロシャツを作成しました。未来へ続く流れをイメージしたラインと「薔薇のまち村山」は市民とともに歩み、未来へつなぐまちづくりを大切にす議員の想いを込めています。



ポロシャツ姿で
爽やかに
活動します

～村山市の未来のために～ 学びを市政に活かします

会派視察
●市政クラブ
令和8年5月15日
仙台市

●議員提案条例について

【今を大切に生きる終活支援条例】について

仙台市は、誰もが安心して生きられる社会の実現を目指し、人口減少や単身高齢者の増加による、孤独死への不安、家族や周囲の人たちへの負担軽減を目的として、令和7年6月に全国で3例目となる、**今を大切に生きる終活支援条例**を制定しました。

終活手続きの相談窓口を一本化したのが大きな特徴です。終活入門セミナー、司法書士会も関わる終活カフェ、無料のエンディングノートは年間の配布予定分がすぐに無くなるなど、高い反響を得ています。行政が民間や専門職と連携し、市民が安心して暮らせる社会の実現に向けた取り組みを学びました。

【仙台市人と猫との共生に関する条例】について

猫の不適切な多頭飼育や野良猫による環境問題、市民生活への悪影響を解消するため、令和元年6月に**仙台市人と猫との共生に関する条例**を制定しています。

市・飼い主・販売事業者の責務に加え、市民や

獣医師の役割を規定していることが特徴です。仙台市は動物愛護センターが専門的に業務にあたり、SNSでの広報や市民ボランティアへのバックアップ、不適切な飼育者への指導、助言などの事業を実施しています。また、関係団体による協議会の設置など、条例制定後も事業評価と課題解決が行われています。

愛護センターを持たない本市は、全体的な取り組みを推進していくために、役割を明確にして進める必要があると考えます。

2つの条例は、地域の課題に対して議員自ら提案したものです。今後研究していきます。



生活によりそう条例の説明を受けました

●村山市活性化推進議員連盟

県縦断駅伝競走大会応援 4月28日(大会2日目)

4月27日から29日に行われた県縦断駅伝競走大会の2日目、村山中継所で村山市議会議員が横断幕を手に各選手を応援しました。

1日目9位の北村山チームは、村山中継所で1位で通過する大健闘で、応援に駆け付けた園児や生徒、たくさんの市民の皆さんが選手に大きな声援を送りました。

村山市出身の選手7名もタスキを繋いだ北村山チームは2日目6位、3日目4位、総合5位で大会を終えました。



北村山チームを応援する市議団

林活研修 6月17日 真室川町 株式会社製材所

製材から木材販売まで行うこの事業所では、製材所から150km圏内で原木を仕入れ、AI製材ラインにより効率的に加工を実施しています。原木を少しも無駄にしない理念から、おがくずやチップ、バークまで無駄なく活用し、バイオマス燃料に用いて木材の乾燥や、木質ペレットの製造に取り組んでいます。さらに、廃校を工場として再活用し、約80人の雇用を生むなど、林産業を通じた地域活性化を実現していました。



倉庫内は常に28℃を保ち品質管理



袖崎洗心会 会長
やはぎ さとし
矢作 智志さん

感謝の心で ～ まつりを継承するために ～

威勢のよい掛声に、鉦・笛・太鼓の音色。躍動感ある踊りと先導する山車。今年も心踊る徳内まつりの季節がやって来ました。私も袖崎洗心会会長として、また踊り手として参加します。活気ある賑やかなまつりになるよう精一杯演舞し、村山の夏を盛り上げます。

徳内ばやしのルーツは「最上徳内翁」の縁で結ばれた北海道厚岸町にあります。これまで互に行き来し、まつりを通じた交流を重ね、絆を深めてきました。徳内まつりを長く続け、まつり文化を継承し成熟させていくため、今後も定期的な交流の機会を確保していくことが必要だと考えます。

徳内まつりが始まり30年以上が経過し、多くの人の想いが重なり紡がれてきました。地域の皆さまをはじめ多くの方に支えられてきました。まつりに関わるすべてのの方々に感謝の気持ちをもってこれからも活動をしていきます。



むらやま徳内まつり2026



厚岸神社にて



袖崎洗心会の演舞

〈表紙写真〉

はやま認定こども園ぶどう組の19名が、5月29日に行われた東沢バラ公園「バラまつり2026オープニングセレモニー」に参加しました。

市長や議長と一緒に園児代表がテープカットを行い、ぶどう組の19名の子どもたちが「それもいいね」の音楽に合わせて、来場者と家族の応援を受けながら元気いっぱい踊りました。

セレモニー後は、バラの香りをかいだり、「ピンクの花がかわいい」と言いながら、バラの花びらを拾い集めたり楽しくバラ園を散策しました。

今度は家族と一緒に来て、暑い日には親水広場で水遊びを楽しんでね！



どのバラが1番キレイかな

広報広聴委員会

委員長

吉田

創

副委員長

瀧田

順子

委員

大山

正弘

矢萩

浩次

阿部

正任

高橋

卯任

森

直也

松倉

慶子



あ と が き

この度、大山正弘議員が広報広聴委員に就任しました。

暑い日が続いておりますが、皆さまお変わりないでしょうか。くれぐれも、熱中症対策は怠らないようお過ごしください。